

筑後川下流地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域 : 福岡県大牟田市外 7 市町、佐賀県佐賀市外11市町
- (2) 受 益 面 積 : 40,899ha
- (3) 事 業 目 的 : 用水改良 40,308ha、排水改良 9,623ha、畑地かんがい 591ha
- (4) 主要工事計画 : 揚 水 機 場 3箇所 (新設)
導 水 路 27.8km (新設)
幹 線 水 路 208.2km (新設)
排 水 水 門 20箇所 (新設)
- (5) 国 営 事 業 費 : 184,000 百万円 (平成26年度時点187,405百万円)
- (6) 工 期 : 昭和49年度 ~ 平成27年度

2. 投資効率の算定

区 分	算定式	数 値(千円)	備 考
総事業費	①	1,087,234,997	
年総効果額	②	72,825,756	
廃用損失額	③	306,458	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	34 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0656	総合耐用年数に応じ年総効果額から妥当投資額を算定するための係数 (T=32年)
妥当投資額	⑥=②/⑤-③	1,109,842,262	
投資効率	⑦=⑥/①	1.02	

3. 年総効果額の総括

区 分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作 物 生 産 効 果	1,507,677	用水の安定供給等による作物生産量の増減
営農経費節減効果	41,901,245	用水の安定供給、区画整理 (関連事業)等による営農経費の増減
維持管理費節減効果	715,476	土地改良施設の改修・新設に伴い、現況と計画で変化する維持管理費の増減
更 新 効 果	21,874,001	施設の改修・更新による現況施設機能 (農業生産) の維持
地盤沈下軽減効果	6,069,735	地下水からの水源転換等による地盤沈下の軽減に伴う被害額の減少
安 全 性 向 上 効 果	56,559	整備水路に付帯する道路に転落防止柵を設置することにより安全性が確保される効果
文化財発見効果	141,905	本事業の実施に伴い付随的に埋蔵文化財が具現化されるとともに文化的価値が明確になる効果
公共施設保全効果	413,718	本事業及び関連事業の実施により付替道路や道路復旧等の補償工事により、利便性の向上や現況施設機能の維持などにより発生する効果
地 籍 確 定 効 果	127,764	ほ場整備事業の換地により地籍が明確となり、地籍調査費用が代替される効果
水辺環境整備効果	17,676	周辺の景観や環境に配慮した水路構造とすることにより、水辺環境が保全、創造される効果
計	72,825,756	
廃 用 損 失 額	306,458	本事業で廃止する施設のうち、耐用年数の尽きていない施設の残存価値が損失される効果

4. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

用水改良による用水の安定供給、排水改良等ほ場条件の改善が図られることによって、作物別作付面積の増減（作付増減効果）と単位当たり収量が増加（単収増加効果）する効果。

○対象作物

水稻、加工用米、大豆、れんこん、アスパラガス、ねぎ、きゅうり、いちご、トマト、なす、い、ソルゴー、きく、小麦、二条大麦、たまねぎ、ばれいしょ、キャベツ、レタス、イタリアンライグラス、みかん

○年効果額算定式

生産増減量×生産物単価×純益率

○年効果額の算定（算定例：福岡県、水稻、加工用米、大豆）

作物名	作付面積 (ha)			効果 要因	単収増 (kg/10a)	生産 増減量 (t)	生産物 単 価 (千円/t)	増 加 粗収益 (千円)	純益率 (%)	年効果額 (千円)
	現況	計画	増減							
水稻	① 6,496	② 6,422	③=②-① △74	④(現況) 作付減	⑤=③×④ 519	⑥ △384.1	⑦=⑤×⑥ 203	⑧ △ 77,972	⑨=⑦×⑧ -	⑩=⑦×⑧ -
				④(増) 単収増	⑤=②×④ (乾田化)	⑥ 16	⑦=⑤×⑥ 203	⑧ 131,382	⑨=⑦×⑧ 77	⑩=⑦×⑧ 101,164
		4,045		④(現況) 単収増	⑤=②×④ (水管理改良)	⑥ 10	⑦=⑤×⑥ 203	⑧ 110,615	⑨=⑦×⑧ 77	⑩=⑦×⑧ 85,174
		5,449		計						186,338
加工用米	① 278	② 275	③=②-① △3	④(現況) 作付減	⑤=③×④ 519	⑥ △15.6	⑦=⑤×⑥ 133	⑧ △ 2,075	⑨=⑦×⑧ -	⑩=⑦×⑧ -
				④(増) 単収増	⑤=②×④ (乾田化)	⑥ 16	⑦=⑤×⑥ 133	⑧ 3,684	⑨=⑦×⑧ 68	⑩=⑦×⑧ 2,505
		173		④(現況) 単収増	⑤=②×④ (水管理改良)	⑥ 10	⑦=⑤×⑥ 133	⑧ 3,099	⑨=⑦×⑧ 68	⑩=⑦×⑧ 2,107
		233		計						4,612
大豆	① 1,771	② 2,136	③=②-① 365	④(計画) 作付増	⑤=③×④ 265	⑥ 967.3	⑦=⑤×⑥ 100	⑧ 96,730	⑨=⑦×⑧ -	⑩=⑦×⑧ -
				④(増) 単収増	⑤=①×④ (湿潤かんがい)	⑥ 20	⑦=⑤×⑥ 100	⑧ 35,420	⑨=⑦×⑧ 63	⑩=⑦×⑧ 22,315
				計						22,315
総計										1,507,677

※主な作物を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・ 作付面積

: 受益面積の変動分を、国営筑後川下流土地改良事業変更計画書の作物別面積割合をベースにして按分し算定。
- ・ 単収

: 農林水産統計等による最近5か年平均を用いた。
- ・ 生産物単価

: 農林水産統計等による最近5か年の平均価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純益率

: 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を使用。

(2) 営農経費節減効果

○効果の考え方

用水の安定供給及びほ場整備による区画整理により、水管理作業の効率化及びほ場内作業の効率化が図られ作物生産に要する経費が節減される効果。

○対象作物

水稻（加工用米含む）、大豆、ソルゴー、小麦、二条大麦、たまねぎ、ばれいしょ、キャベツ、レタス、イタリアンライグラス、みかん

○年効果額算定式

(現況単位面積当り営農経費－計画単位面積当り営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

算定例：区画整理の水稻・大豆 未整理乾田 → 中区画乾田

用水改良の大豆 かんがい施設未整備 → かんがい施設整備

作物名		ha当たり営農経費				ha当たり 節減額(円) ⑤＝ (①+③)－ (②+④)	効果 発生 面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦＝⑤×⑥
		労働費(円)		機械等経費(円)				
		現況	計画	現況	計画			
		①	②	③	④			
水 稲 (区画整理)	ア	295, 044	195, 455	1, 504, 838	284, 289	1, 320, 138	5, 686	7, 506, 305
	イ	249, 085	181, 900	1, 142, 742	316, 645	893, 282	9, 460	8, 450, 448
	ウ	249, 085	181, 900	1, 116, 704	303, 550	880, 339	2, 538	2, 234, 300
大 豆 (区画整理)	ア	171, 736	81, 853	732, 735	179, 349	643, 269	1, 813	1, 166, 247
	イ	138, 104	55, 024	730, 849	213, 881	600, 048	4, 104	2, 462, 597
	ウ	138, 104	55, 024	412, 406	213, 501	281, 985	1, 218	343, 458
大 豆 (用水改良)	エ	－	30, 711	－	－	△ 30, 711	2, 136	△ 65, 599
	オ	－	32, 123	－	－	△ 32, 123	6, 634	△ 213, 104
総計								41, 901, 245

※ア：基盤整備（福岡地域）イ：基盤整備（佐城三神地域）ウ：基盤整備（杵島地域）

エ：畑地かんがい（福岡県）オ：畑地かんがい（佐賀県）

※主な作物を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・ 現況経費（①，③）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
- ・ 計画経費（②，④）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
- ・ 効果発生面積： 受益面積の変動分を、国営筑後川下流土地改良事業変更計画書の作物別面積割合をベースに按分して算定。

(3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

土地改良施設の新設、改修、廃止により、従前に要していた施設の維持管理費が増減する効果。

○対象施設

揚水機場、導水路、幹線水路、排水水門、筑後大堰、嘉瀬川ダム、排水機等

○効果算定式

現況維持管理費－計画維持管理費

○年効果額の算定

現況維持管理費 (千円)①	計画維持管理費 (千円)②	年効果額(千円) ③＝①－②	備 考
3,492,565	2,777,089	715,476	

- ・ 現況維持管理費 (①) : 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。

・ 計画維持管理費 (②) : 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。

(4) 更新効果

○効果の考え方

老朽化した土地改良施設を更新することにより、現況施設の機能及び従前の農業生産が維持される効果。

○対象施設

クリーク、区画整理内水路、揚水機、打込井戸、井堰、樋管等

○年効果算定式

最経済的事業費×還元率

○年効果額の算定

対象施設	最経済的 事業費 (千円)①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備考
クリーク	123,058,615	0.0736	9,057,114	耐用年数20年
区画整理内水路	100,734,678	0.0736	7,414,072	耐用年数20年
揚水機	25,950,759	0.0736	1,909,976	耐用年数20年
打込井戸	6,811,500	0.0578	393,705	耐用年数30年
計			21,874,001	

※主な施設を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照

- ・最経済的事業費 (①) : 現況施設と同じ機能を有する施設を再建設する場合の事業費。国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
- ・還元率 (②) : 各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(5) 地盤沈下軽減効果

○効果の考え方

農業用水として利用していた地下水からの水源転換により、地下水取水による地盤沈下の被害が軽減される効果。

○対象施設

家屋、耕地、道路、水路

○年効果算定式

被害防止効果＋応急対策費軽減効果

○年効果額の算定

被害防止効果 ①	応急対策費軽減効果 (千円)②	年効果額(千円) ③＝①＋②	備 考
6,069,735	-	6,069,735	

- ・被害防止効果（①）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
- ・応急対策費軽減効果（②）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書による。

(6) 安全性向上効果

○効果の考え方

水路の整備に当たり、転落防止柵を設置することにより転落事故等が防止され安全性が確保される効果。

○対象施設

ガードレール、ネットフェンス

○年効果算定式

安全性確保投資額×還元率

○年効果額の算定

安全性確保投資額 (千円) ①	還 元 率 ②	年効果額(千円) ③＝①×②	備 考
458,712	0.1233	56,559	耐用年数10年

- ・設置(確保)投資額（①）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
- ・還元率（②）： 各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(7) 文化財発見効果

○効果の考え方

土地改良事業の実施に伴い付随的に埋蔵文化財が具現化されるとともに、発掘調査を行うことによりその文化的価値が明確になる効果。

○対象施設

文化財

○効果算定式

土地改良事業で支出する経費（文化財に係わる調査費等）×還元率

○年効果額の算定

経費区分	土地改良事業 で支出する経費 (千円)①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備 考
発掘調査費	3,105,170	0.0408	126,691	耐用年数100年
保 存 費	301,261	0.0505	15,214	耐用年数 40年
計			141,905	

・現況維持管理費（①）： 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。

・還元率（②）： 各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(8) 公共施設保全効果

○効果の考え方

本事業及び関連事業においてパイプライン埋設に伴う道路復旧、橋梁及び道路の付替により、公共施設の維持管理費や一般交通の経費が増減する効果、旧施設の機能が維持される効果（更新効果）及び付替道路に歩道を設置することで安全性が向上する効果。

○対象施設

パイプライン埋設道路、農業用排水路の橋梁架替、嘉瀬川ダム付替道路

○効果算定式

妥当投資額（維持管理費節減効果＋一般交通等経費節減効果＋更新効果
＋安全性向上効果）×還元率

○年効果額の算定

当該土地改良 事業の総合耐 用年数に応じ た資本還元率 ①	維持管理費節減効果		一般交通等経費節減効果		更 新 効 果	
	妥当投資額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=②×①	妥当投資額 (千円) ④	年効果額 (千円) ⑤=④×①	妥当投資額 (千円) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑥×①
0.0656	6,317	414	2,947,208	193,337	3,225,253	211,577

総合耐用年数
34年

安全性向上効果		計	
妥当投資額 (千円) ⑧	年効果額 (千円) ⑨=⑧×①	妥当投資額 (千円) ⑩=②+④+⑥+⑧	年効果額 (千円) ⑪=⑩×①
127,901	8,390	6,306,679	413,718

- ・当該土地改良事業の総合耐用年数に応じた資本還元率（①）：
本事業の総合耐用年数による、割引率を基に算出される係数。
- ・妥当投資額（②）：年効果額を施設別の耐用年数に応じた還元率で除した値で整理。

(9) 地籍確定効果

○効果の考え方

関連するほ場整備事業の実施に伴う換地により、地籍が明確になることで国土調査における地籍調査費用が軽減する効果。

○対象施設

ほ場整備事業により地籍が明確になる土地

○年効果算定式

$$(\text{現況経費} - \text{計画経費}) \times \text{還元率}$$

○年効果額の算定

現況経費 (千円) ①	計画経費 (千円) ②	耐用年数 (年) ③	還元率 ④	年効果額 (千円) ⑤=(①-②)×④
3,135,854	4,395	100	0.0408	127,764

- ・ 現況経費 (①) : 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
 - ・ 計画経費 (②) : 国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
 - ・ 還元率 (④) : 各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(10) 水辺環境整備効果

○効果の考え方

事業実施に伴い、農業用排水路を周辺の景観や環境に配慮した構造とすることにより、住民の憩いの場を提供する効果。

○対象施設

幹線水路

○年効果算定式

環境に配慮した機能を付加するために要する追加投資経費×還元率

○年効果額の算定

投資施設名	環境配慮追加 投資額 (千円)①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備考
【大井手幹線水路】				
御影石張り	99,303	0.0505	5,015	耐用年数40年
御影高柵	40,508	0.0495	2,005	耐用年数42年
鉄平石	3,846	0.0505	194	耐用年数40年
雑割石	247	0.0736	18	耐用年数20年
計			17,676	

※主な施設を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照

・環境追加投資経費（①）	：国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」に示す支出済費用換算係数により補正している。
・還元率（②）	：各施設の耐用年数と割引率を基に算出される係数。

(11) 廃用損失額

○考え方

廃止、改修を行う施設のうち、耐用年数が尽きていない施設については、廃止、改修によって施設の有する残存価値が失われる。この価値を廃用損失額（デッドコスト）として算定。

○対象施設

クリーク、区画整理内水路、揚水機、打込井戸、井堰、樋管、区画整理道路、幹線水路

○廃用損失額算定式

償却資産額×残存率

○廃用損失額の算定（算定例：クリーク、区画整理内水路、揚水機）

現況施設 (廃用施設)	設置年	償却資産額 (千円) ①	残存率			廃用損失額 (千円) ⑤＝①×④
			廃用時までの 使用年数②	今後の使用 可能年数③	残存率 ④＝③/(②+③)	
クリーク	不明	123,058,615	－	－	－	0
区画整理内水路	不明	100,734,678	－	－	－	0
揚水機	不明	25,950,759	－	－	－	0
計						306,458

※主な施設を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細」を参照

・償却資産額(①)：	廃用施設の事業費から廃棄価格（スクラップとしての価格）を差し引いた額・国営筑後川下流土地改良事業変更計画書を基に、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について示す支出済費用換算係数により補正している。
------------	--

5. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省構造改善局計画部（監修）（1988）「〔改訂〕解説土地改良の経済効果」大成出版社
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知（平成25年3月26日一部改正））
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（平成25年3月26日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

【総事業費】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、九州農政局筑後川下流農業水利事務所調べ

【効果算定】

- ・九州農政局「国営筑後川下流土地改良事業変更計画書」
- ・「面積調査 市町村別データ」農林水産省（<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyo/sakumotu/menseki/index.html>）
- ・「面積調査 作物統計（普通作物・飼料作物・工芸作物）」農林水産省（<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyo/sakumotu/menseki/index.html>）
- ・「福岡農林水産統計年報 九州農政局福岡地域センター」（平成19年～23年平均）
- ・「佐賀農林水産統計年報 九州農政局佐賀地域センター」（平成19年～23年平均）
- ・効果算定に係る一般に公表されていない諸元については、九州農政局筑後川下流農業水利事務所調べ

筑後川下流地区の事業の効用に関する詳細

1. 投資効率の算定

区 分	算 定 式	数 値 (千円)	備 考
総 事 業 費	①	1,087,234,997	
年 総 効 果 額	②	72,825,756	
廃 用 損 失 額	③	306,458	廃止する施設の残存価額
総 合 耐 用 年 数	④	34 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0656	総合耐用年数に応じた年総効果額から妥当投資額を算定するための係数(T=32年)
妥 当 投 資 額	⑥=②/⑤-③	1,109,842,262	
投 資 効 率	⑦=⑥/①	1.02	

2. 年総効果額の総括

区 分 効果項目	年総効果額 (千円)	効 果 の 要 因
作 物 生 産 効 果	1,507,677	用水の安定供給等による作物生産量の増減
営農経費節減効果	41,901,245	用水の安定供給、区画整理(関連事業)等による営農経費の増減
維持管理費節減効果	715,476	土地改良施設の改修・新設に伴い、現況と計画で変化する維持管理費の増減
更 新 効 果	21,874,001	施設の改修・更新による現況施設機能(農業生産)の維持
地盤沈下軽減効果	6,069,735	地下水からの水源転換等による地盤沈下の軽減に伴う被害額の減少
安 全 性 向 上 効 果	56,559	整備水路に付帯する道路に転落防止柵を設置することにより安全性が確保される効果
文 化 財 発 見 効 果	141,905	本事業の実施に伴い付随的に埋蔵文化財が具現化されるとともに文化的価値が明確になる効果
公共施設保全効果	413,718	本事業及び関連事業の実施により付替道路や道路復旧等の補償工事により、利便性の向上や現況施設機能の維持などにより発生する効果
地 籍 確 定 効 果	127,764	ほ場整備事業の換地により地籍が明確となり、地籍調査費用が代替される効果
水辺環境整備効果	17,676	周辺の景観や環境に配慮した水路構造とすることにより、水辺環境が保全、創造される効果
計	72,825,756	
廃 用 損 失 額	306,458	本事業で廃止する施設のうち、耐用年数の尽きていない施設の残存価値が損失される効果

3. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

地域名	地目	作物名	作付面積 (ha)			効果要因	単収増	増加生産量	単価	増加粗収益	純益率	年効果額
			現況	計画	増減		(kg/10a)	(t)	(千円/t)	(千円)	(%)	(千円)
福岡県	田	水稲	① 6,496	② 6,422	③=②-① △ 74	作付減	④(現況) 519	⑤=③×④ △ 384.1	⑥ 203	⑦=⑤×⑥ △ 77,972	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
			(乾田化)②-1 4,045			単収増 (乾田化)	④(増) 16	⑤=②-1×④ 647.2	⑥ 203	⑦=⑤×⑥ 131,382	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 101,164
			(水管理改良)②-2			単収増 (水管理改良)	④(増) 10	⑤=②-2×④ 544.9	⑥ 203	⑦=⑤×⑥ 110,615	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 85,174
			5,449			小計		808.0		164,025		186,338
		加工用米	① 278	② 275	③=②-① △ 3	作付減	④(現況) 519	⑤=③×④ △ 15.6	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ △ 2,075	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
			(乾田化)②-1 173			単収増 (乾田化)	④(増) 16	⑤=②-1×④ 27.7	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ 3,684	⑧ 68	⑨=⑦×⑧ 2,505
			(水管理改良)②-2			単収増 (水管理改良)	④(増) 10	⑤=②-2×④ 23.3	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ 3,099	⑧ 68	⑨=⑦×⑧ 2,107
			233			小計		35.4		4,708		4,612
		大豆	① 1,771	② 2,136	③=②-① 365	作付増	④(計画) 265	⑤=③×④ 967.3	⑥ 100	⑦=⑤×⑥ 96,730	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増 (湿潤かんがい)	④(増) 20	⑤=①×④ 354.2	⑥ 100	⑦=⑤×⑥ 35,420	⑧ 63	⑨=⑦×⑧ 22,315
						小計		1,321.5		132,150		22,315
		いちご	① 240	② 254	③=②-① 14	作付増	④(計画) 3,785	⑤=③×④ 529.9	⑥ 996	⑦=⑤×⑥ 527,780	⑧ 4	⑨=⑦×⑧ 21,111
		トマト	① 75	② 73	③=②-① △ 2	作付減	④(計画) 12,615	⑤=③×④ △ 252.3	⑥ 192	⑦=⑤×⑥ △ 48,442	⑧ 9	⑨=⑦×⑧ △ 4,360
		なす	① 243	② 275	③=②-① 32	作付増	④(計画) 13,065	⑤=③×④ 4,180.8	⑥ 222	⑦=⑤×⑥ 928,138	⑧ 7	⑨=⑦×⑧ 64,970
		い	① 293	② 216	③=②-① △ 77	作付減	④(現況) 1,251	⑤=③×④ △ 963.3	⑥ 688	⑦=⑤×⑥ △ 662,750	⑧ 57	⑨=⑦×⑧ △ 377,768
		ソルゴー	① 340	② 376	③=②-① 36	作付増	④(計画) 7,771	⑤=③×④ 2,797.6	⑥ 13	⑦=⑤×⑥ 36,369	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増 (湿潤かんがい)	④(増) 1,295	⑤=①×④ 4,403.0	⑥ 13	⑦=⑤×⑥ 57,239	⑧ 3	⑨=⑦×⑧ 1,717
						小計		7,200.6		93,608		1,717

地域名	地目	作物名	作付面積 (ha)			効果要因	単収増	増加生産量	単価	増加粗収益	純益率	年効果額
			現況	計画	増減		(kg/10a)	(t)	(千円/t)	(千円)	(%)	(千円)
福岡県	田	小麦	① 4,901	② 5,449	③=②-① 548	作付増	④(計画) 372	⑤=③×④ 2,038.6	⑥ 30	⑦=⑤×⑥ 61,158	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
		二条大麦	① 685	② 747	③=②-① 62	作付増	④(計画) 383	⑤=③×④ 237.5	⑥ 35	⑦=⑤×⑥ 8,313	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
		たまねぎ	① 132	② 128	③=②-① △ 4	作付減	④(現況) 3,084	⑤=③×④ △ 123.4	⑥ 72	⑦=⑤×⑥ △ 8,885	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ △ 1,688
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 401	⑤=②×④ 513.3	⑥ 72	⑦=⑤×⑥ 36,958	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 29,197
						小計		389.9		28,073		27,509
		ばれいしょ	① 108	② 117	③=②-① 9	作付増	④(計画) 1,733	⑤=③×④ 156.0	⑥ 165	⑦=⑤×⑥ 25,740	⑧ 15	⑨=⑦×⑧ 3,861
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 289	⑤=①×④ 312.1	⑥ 165	⑦=⑤×⑥ 51,497	⑧ 82	⑨=⑦×⑧ 42,228
						小計		468.1		77,237		46,089
		レタス	① 384	② 397	③=②-① 13	作付増	④(計画) 2,123	⑤=③×④ 276.0	⑥ 136	⑦=⑤×⑥ 37,536	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 7,132
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 244	⑤=①×④ 937.0	⑥ 136	⑦=⑤×⑥ 127,432	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 100,671
						小計		1,213.0		164,968		107,803
		イタリアンライグラス	① 276	② 327	③=②-① 51	作付増	④(計画) 6,822	⑤=③×④ 3,479.2	⑥ 14	⑦=⑤×⑥ 48,709	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 1,137	⑤=①×④ 3,138.1	⑥ 14	⑦=⑤×⑥ 43,933	⑧ 3	⑨=⑦×⑧ 1,318
						小計		6,617.3		92,642		1,318
		計	16,375	27,245	970			23,825.0		1,571,608		101,654
佐賀県	田	水稲	① 15,418	② 14,498	③=②-① △ 920	作付減	④(現況) 523	⑤=③×④ △ 4,811.6	⑥ 190	⑦=⑤×⑥ △ 914,204	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (乾田化) 16	⑤=②-1×④ 1,763.5	⑥ 190	⑦=⑤×⑥ 335,065	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 258,000
						単収増	④(増) (水管理改良) 10	⑤=②-2×④ 1,162.5	⑥ 190	⑦=⑤×⑥ 220,875	⑧ 77	⑨=⑦×⑧ 170,074
						小計		△ 1,885.6		△ 358,264		428,074
		加工用米	① 420	② 411	③=②-① △ 9	作付減	④(現況) 523	⑤=③×④ △ 47.1	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ △ 6,264	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (乾田化) 16	⑤=②×④ 49.9	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ 6,637	⑧ 68	⑨=⑦×⑧ 4,513
						単収増	④(増) (水管理改良) 10	⑤=②×④ 33.0	⑥ 133	⑦=⑤×⑥ 4,389	⑧ 68	⑨=⑦×⑧ 2,985
						小計		35.8		4,762		7,498

地域名	地目	作物名	作付面積 (ha)			効果要因	単収増	増加生産量	単価	増加粗収益	純益率	年効果額
			現況	計画	増減		(kg/10a)	(t)	(千円/t)	(千円)	(%)	(千円)
佐賀県	田	大豆	① 5,993	② 6,634	③=②-① 641	作付増	④(計画) 257	⑤=③×④ 1,647.4	⑥ 109	⑦=⑤×⑥ 179,567	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増)	⑤=①×④	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨=⑦×⑧
						(湿潤かんがい)	19	1,138.7	109	124,118	63	78,194
						小計		2,786.1		303,685		78,194
		れんこん	① 434	② 444	③=②-① 10	作付増	④(現況) 1,428	⑤=③×④ 142.8	⑥ 276	⑦=⑤×⑥ 39,413	⑧ 15	⑨=⑦×⑧ 5,912
		アスパラガス	① 85	② 109	③=②-① 24	作付増	④(計画) 2,415	⑤=③×④ 579.6	⑥ 641	⑦=⑤×⑥ 371,524	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 70,590
		小ねぎ	① 100	② 103	③=②-① 3	作付増	④(計画) 957	⑤=③×④ 28.7	⑥ 351	⑦=⑤×⑥ 10,074	⑧ 2	⑨=⑦×⑧ 201
		きゅうり	① 86	② 88	③=②-① 2	作付増	④(現況) 10,507	⑤=③×④ 210.1	⑥ 182	⑦=⑤×⑥ 38,238	⑧ 9	⑨=⑦×⑧ 3,441
		いちご	① 306	② 329	③=②-① 23	作付増	④(計画) 4,107	⑤=③×④ 944.6	⑥ 788	⑦=⑤×⑥ 744,345	⑧ 4	⑨=⑦×⑧ 29,774
		トマト	① 72	② 78	③=②-① 6	作付増	④(計画) 9,464	⑤=③×④ 567.8	⑥ 214	⑦=⑤×⑥ 121,509	⑧ 9	⑨=⑦×⑧ 10,936
		なす	① 94	② 102	③=②-① 8	作付増	④(計画) 13,540	⑤=③×④ 1,083.2	⑥ 162	⑦=⑤×⑥ 175,478	⑧ 7	⑨=⑦×⑧ 12,283
		い	① 136	② 96	③=②-① △ 40	作付減	④(計画) 1,251	⑤=③×④ △ 500.4	⑥ 687	⑦=⑤×⑥ △ 343,775	⑧ 57	⑨=⑦×⑧ △ 195,952
		ソルゴー	① 311	② 299	③=②-① △ 12	作付減	④(現況) 5,206	⑤=③×④ △ 624.7	⑥ 11	⑦=⑤×⑥ △ 6,872	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増)	⑤=②×④	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨=⑦×⑧
						(湿潤かんがい)	1,041	3,112.6	11	34,239	3	1,027
						小計		2,487.9		27,367		1,027
		きく	① 74	② 87	③=②-① 13	作付増	④(計画) 36,095	⑤=③×④ 4,692.4	⑥ 54	⑦=⑤×⑥ 253,390	⑧ 33	⑨=⑦×⑧ 83,619
		小麦	① 4,875	② 5,368	③=②-① 493	作付増	④(計画) 375	⑤=③×④ 1,848.8	⑥ 21	⑦=⑤×⑥ 38,825	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -

地域名	地目	作物名	作付面積 (ha)			効果要因	単収増	増加生産量	単価	増加粗収益	純益率	年効果額
			現況	計画	増減		(kg/10a)	(t)	(千円/t)	(千円)	(%)	(千円)
佐賀県	田	二条大麦	① 9,696	② 10,762	③=②-① 1,066	作付増	④(計画) 370	⑤=③×④ 3,944.2	⑥ 126	⑦=⑤×⑥ 496,969	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
		たまねぎ	① 1,830	② 2,310	③=②-① 480	作付増	④(現況) 6,387	⑤=③×④ 30,657.6	⑥ 44	⑦=⑤×⑥ 1,348,934	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 256,297
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 735	⑤=①×④ 13,450.5	⑥ 44	⑦=⑤×⑥ 591,822	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 467,539
						小計		44,108.1		1,940,756		723,836
		キャベツ	① 153	② 168	③=②-① 15	作付増	④(計画) 3,959	⑤=③×④ 593.9	⑥ 41	⑦=⑤×⑥ 24,350	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 4,627
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 660	⑤=①×④ 1,009.8	⑥ 41	⑦=⑤×⑥ 41,402	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 32,708
						小計		1,603.7		65,752		37,335
		レタス	① 107	② 118	③=②-① 11	作付増	④(現況) 2,531	⑤=③×④ 278.4	⑥ 59	⑦=⑤×⑥ 16,426	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 3,121
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 291	⑤=①×④ 311.4	⑥ 59	⑦=⑤×⑥ 18,373	⑧ 79	⑨=⑦×⑧ 14,515
						小計		589.8		34,799		17,636
		イタリアンライグラス	① 208	② 203	③=②-① △ 5	作付減	④(現況) 5,708	⑤=③×④ △ 285.4	⑥ 12	⑦=⑤×⑥ △ 3,425	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 1,142	⑤=②×④ 2,318.3	⑥ 12	⑦=⑤×⑥ 27,820	⑧ 3	⑨=⑦×⑧ 835
						小計		2,032.9		24,395		835
		計	40,398	65,496	1,809			65,300.5		3,989,242		1,315,239
	普通畑	大豆	① 77	② 64	③=②-① △ 13	作付減	④(現況) 238	⑤=③×④ △ 30.9	⑥ 109	⑦=⑤×⑥ △ 3,368	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 19	⑤=②×④ 12.2	⑥ 109	⑦=⑤×⑥ 1,330	⑧ 63	⑨=⑦×⑧ 838
						小計		△ 18.7		△ 2,038		838
		れんこん	① 35	② 53	③=②-① 18	作付増	④(計画) 1,428	⑤=③×④ 257.0	⑥ 276	⑦=⑤×⑥ 70,932	⑧ 15	⑨=⑦×⑧ 10,640
						作付増	④(計画) 6,247	⑤=③×④ 249.9	⑥ 11	⑦=⑤×⑥ 2,749	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -
						単収増	④(増) (湿潤かんがい) 1,041	⑤=①×④ 166.6	⑥ 11	⑦=⑤×⑥ 1,833	⑧ 3	⑨=⑦×⑧ 55
						小計		416.5		4,582		55
		ソルゴー	① 16	② 20	③=②-① 4	作付増	④(計画) 6,247	⑤=③×④ 249.9	⑥ 11	⑦=⑤×⑥ 2,749	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -

地域名	地目	作物名	作付面積 (ha)			効果要因	単収増 (kg/10a)	増加生産量 (t)	単価 (千円/t)	増加粗収益 (千円)	純益率 (%)	年効果額 (千円)	
			現況	計画	増減								
佐賀県	普通畑	小麦	① 66	② 67	③=②-① 1	作付増	④(計画) 375	⑤=③×④ 3.8	⑥ 21	⑦=⑤×⑥ 80	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -	
		二条大麦	① 42	② 44	③=②-① 2	作付増	④(計画) 370	⑤=③×④ 7.4	⑥ 126	⑦=⑤×⑥ 932	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -	
		たまねぎ	① 259	② 247	③=②-① △ 12	作付減	④(現況) 5,652	⑤=③×④ △ 678.2	⑥ 44	⑦=⑤×⑥ △ 29,841	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ △ 5,670	
						単収増	④(増)	⑤=②×④	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨=⑦×⑧	
						(湿潤かんがい)	735	1,815.5	44	79,882	79	63,107	
						小計		1,137.3		50,041		57,437	
		キャベツ	① 29	② 36	③=②-① 7	作付増	④(現況) 3,959	⑤=③×④ 277.1	⑥ 41	⑦=⑤×⑥ 11,361	⑧ 19	⑨=⑦×⑧ 2,159	
						単収増	④(増)	⑤=①×④	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨=⑦×⑧	
						(湿潤かんがい)	660	191.4	41	7,847	79	6,199	
						小計		468.5		19,208		8,358	
		イタリアンライグラス	① 18	② 21	③=②-① 3	作付増	④(計画) 6,850	⑤=③×④ 205.5	⑥ 12	⑦=⑤×⑥ 2,466	⑧ -	⑨=⑦×⑧ -	
						単収増	④(増)	⑤=①×④	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨=⑦×⑧	
						(湿潤かんがい)	1,142	205.6	12	2,467	3	74	
						小計		411.1		4,933		74	
		計		552	562	10			2,682.9		148,670		77,402
		樹園地	みかん	① 74	② 74	③=②-① 0	単収増 (湿潤かんがい)	④(増) 294	⑤=①×④ 217.6	⑥ 82	⑦=⑤×⑥ 17,843	⑧ 75	⑨=⑦×⑧ 13,382
計			74	74	0			217.6		17,843		13,382	
総計			57,399	93,377	2,789			92,026.0		5,727,363		1,507,677	

(2) 営農経費節減効果

作物名		ha 当 たり 営 農 経 費				ha当たり	効果発	年効果額
		労 働 費 (円)		機械経費等 (円)		節減額(円)	生面積	
		現 況 ①	計 画 ②	現 況 ③	計 画 ④		⑥	(千円) ⑦=⑤×⑥
【水 田】								
水 稲 (加工用米含む) (区 画 整 理)	ア	295,044	195,455	1,504,838	284,289	1,320,138	5,686	7,506,305
	イ	249,085	181,900	1,142,742	316,645	893,282	9,460	8,450,448
	ウ	249,085	181,900	1,116,704	303,550	880,339	2,538	2,234,300
大 豆 (区 画 整 理)	ア	171,736	81,853	732,735	179,349	643,269	1,813	1,166,247
	イ	138,104	55,024	730,849	213,881	600,048	4,104	2,462,597
	ウ	138,104	55,024	412,406	213,501	281,985	1,218	343,458
大 豆 (用 水 改 良)	エ	-	30,711	-	-	△ 30,711	2,136	△ 65,599
	オ	-	32,123	-	-	△ 32,123	6,634	△ 213,104
ソ ル ゴ ー (区 画 整 理)	ア	152,896	142,525	752,873	166,357	596,887	317	189,213
	イ	128,885	103,668	1,233,048	474,241	784,024	151	118,388
	ウ	128,885	103,668	1,026,181	404,507	646,891	89	57,573
ソ ル ゴ ー (用 水 改 良)	エ	-	27,318	-	-	△ 27,318	376	△ 10,272
	オ	-	28,574	-	-	△ 28,574	299	△ 8,544
小 麦 (区 画 整 理)	ア	205,215	112,068	1,049,784	246,031	896,900	4,626	4,149,059
	イ	140,825	63,949	1,092,626	204,385	965,117	3,530	3,406,863
	ウ	140,825	63,949	864,835	195,040	746,671	812	606,297
二 条 大 麦 (区 画 整 理)	ア	205,215	112,068	1,049,784	246,031	896,900	634	568,635
	イ	148,883	72,867	1,092,470	204,385	964,101	7,694	7,417,793
	ウ	148,883	72,867	864,835	195,040	745,811	1,115	831,579
た ま ね ぎ (区 画 整 理)	ア	1,730,602	1,366,352	932,232	339,527	956,955	109	104,308
	イ	2,288,956	1,687,020	805,680	390,120	1,017,496	407	414,121
	ウ	1,921,649	1,582,539	1,013,496	334,928	1,017,678	1,271	1,293,469
た ま ね ぎ (用 水 改 良)	エ	-	27,579	-	-	△ 27,579	128	△ 3,530
	オ	-	28,847	-	-	△ 28,847	2,310	△ 66,637
ば れ い し ょ (区 画 整 理)	ア	459,165	237,318	1,826,526	242,441	1,805,932	99	178,787
ば れ い し ょ (用 水 改 良)	エ	-	12,354	-	-	△ 12,354	117	△ 1,445
キ ャ ベ ツ (区 画 整 理)	イ	750,480	434,556	744,494	266,917	793,501	60	47,610
	ウ	750,480	434,556	360,046	172,465	503,505	67	33,735
キ ャ ベ ツ (用 水 改 良)	オ	-	22,568	-	-	△ 22,568	168	△ 3,791
レ タ ス (区 画 整 理)	ア	2,704,602	2,568,899	915,779	172,544	878,938	337	296,202
	イ	2,626,723	2,447,735	755,119	288,109	645,998	45	29,070
	ウ	2,626,723	2,447,735	459,891	187,463	451,416	45	20,314

※ア：基盤整備（福岡地域）イ：基盤整備（佐城三神地域）ウ：基盤整備（杵島地域）
エ：畑地かんがい（福岡県）オ：畑地かんがい（佐賀県）

作物名		ha 当 た り 営 農 経 費				ha当たり 節減額(円) ⑤=(①+③) -(②+④)	効果発 生面積 (ha) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑤×⑥
		労 働 費 (円)		機械経費等 (円)				
		現 況 ①	計 画 ②	現 況 ③	計 画 ④			
【 水 田 】								
レ タ ス	エ	-	14,616	-	-	△ 14,616	397	△ 5,803
(用 水 改 良)	オ	-	15,288	-	-	△ 15,288	118	△ 1,804
イタリアンライクミラス (区 画 整 理)	ア	133,174	120,222	931,728	189,613	755,067	277	209,154
	イ	126,633	101,674	1,756,090	762,461	1,018,588	106	107,970
	ウ	126,633	101,674	1,644,650	478,736	1,190,873	54	64,307
イタリアンライクミラス	エ	-	21,576	-	-	△ 21,576	327	△ 7,055
(用 水 改 良)	オ	-	22,568	-	-	△ 22,568	203	△ 4,581
計							59,877	41,915,637
【 普通畑 】								
大								

※ア：基盤整備（福岡地域）イ：基盤整備（佐城三神地域）ウ：基盤整備（杵島地域）
エ：畑地かんがい（福岡県）オ：畑地かんがい（佐賀県）

（３）維持管理費節減効果

現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=①-②	備 考
3,492,565	2,777,089	715,476	

(4) 更新効果

対 象 施 設 名	再経済的事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額(千円) ③=①×②	備 考
①本事業及び関連事業				
ク リ ー ク	123,058,615	0.0736	9,057,114	耐用年数20年
区 画 整 理 内 水 路	100,734,678	0.0736	7,414,072	耐用年数20年
揚 水 機	25,950,759	0.0736	1,909,976	耐用年数20年
打 込 井 戸	6,811,500	0.0578	393,705	耐用年数30年
井 堰	5,145,216	0.0466	239,767	耐用年数50年
樋 管	12,297,677	0.0578	710,806	耐用年数30年
小 計			19,725,440	
②関連事業(区画整理)				
区画整理内道路	25,823,209	0.0505	1,304,072	耐用年数40年
③関連事業(国営佐賀中部地区)				
右 岸 幹 線 水 路	1,810,459	0.0505	91,428	耐用年数40年
西水東水幹線水路	1,371,502	0.0505	69,261	耐用年数40年
久 保 田 幹 線 水 路	2,215,296	0.0505	111,872	耐用年数40年
大 井 出 幹 線 水 路	3,355,184	0.0505	169,437	耐用年数40年
市の江川副幹線水路	4,315,478	0.0505	217,932	耐用年数40年
天 祐 寺 線	141,116	0.0505	7,126	耐用年数40年
兵 庫 線	509,706	0.0505	25,740	耐用年数40年
嘉 瀬 線	3,003,822	0.0505	151,693	耐用年数40年
小 計			844,489	
計			21,874,001	

(5) 地盤沈下軽減効果

対象施設	被害防止効果 (千円) ①	応 急 対 策 費 軽 減 効 果 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=①+②	備 考
家 屋	9,900	-	9,900	
耕 地	1,603,613	-	1,603,613	
道 路	3,096,020	-	3,096,020	
水 路	1,360,202	-	1,360,202	
計	6,069,735	-	6,069,735	

（６）安全性向上効果

安全施設名	設置(確保)投資額 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備 考
カーブトレース、ネットフェンス	458,712	0.1233	56,559	耐用年数10年

（７）文化財発見効果

経費区分	土地改良事業で 支出する経費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額 (千円) ③=①×②	備 考
発掘調査費	3,105,170	0.0408	126,691	耐用年数100年
保存費	301,261	0.0505	15,214	耐用年数 40年
計			141,905	

（８）公共施設保全効果

①維持管理費節減効果

対象施設名	現況維持管理費 (千円) ①	計画維持管理費 (千円) ②	年効果額(千円) ③=①-②
嘉瀬川ダム付替道路	2,185	1,866	319
計			319

②一般交通等経費節減効果

対象施設名	現況経費 (千円) ①	計画経費 (千円) ②	年効果額(千円) ③=①-②
道路付替(関連事業)	581,573	432,739	148,834

③更新効果

対 象 施 設 名	再経済的事業費 (千円) ①	還元率 ②	年効果額(千円) ③=①×②	備 考
【道路復旧（本事業、パイプライン埋設）】				
城 原 金 立 線	42,975	0.0505	2,170	耐用年数40年
佐賀西部高域線	129,065	0.0505	6,518	耐用年数40年
佐賀西部導水路	135,687	0.0505	6,852	耐用年数40年
多久導水路	92,661	0.0505	4,679	耐用年数40年
小 計			20,219	
【道路復旧（関連事業、パイプライン埋設）】				
佐賀西部導水路 白石線・山脚導水路	200,057	0.0505	10,103	耐用年数40年
【橋梁付替（本事業）】				
橋 桁 タ イ プ	76,878	0.0442	3,398	耐用年数60年
暗 渠 タ イ プ ①	39,581	0.0466	1,844	耐用年数50年
暗 渠 タ イ プ ②	17,093	0.0466	797	耐用年数50年
栈橋タイプ(11-4)	59,438	0.0442	2,627	耐用年数60年
栈橋タイプ(11-5)	64,689	0.0442	2,859	耐用年数60年
栈橋タイプ(13-1)	69,210	0.0442	3,059	耐用年数60年
栈橋タイプ(13-2)	63,281	0.0442	2,797	耐用年数60年
小 計			17,381	
【道路付替（関連事業）】				
国 道 323 号	1,221,354	0.0505	61,678	耐用年数40年
県道三瀬栗並線	233,055	0.0505	11,769	耐用年数40年
町道東畑瀬御殿場線	25,345	0.0505	1,280	耐用年数40年
町道畑瀬馬場野線	98,320	0.0505	4,965	耐用年数40年
町道鷹の羽畑瀬線	98,582	0.0505	4,978	耐用年数40年
町道鷹の羽小ヶ倉線	84,814	0.0505	4,283	耐用年数40年
町道小ヶ倉線	60,019	0.0505	3,031	耐用年数40年
町道小ヶ倉音無線	60,128	0.0505	3,036	耐用年数40年
町道大野藤瀬線	14,301	0.0505	722	耐用年数40年
町道大野大串線	84,118	0.0505	4,248	耐用年数40年
町道大野北川線	5,959	0.0505	301	耐用年数40年
町道中原2号線	10,924	0.0505	552	耐用年数40年
町道二本松1号線	41,950	0.0505	2,118	耐用年数40年
町道二本松2号線	77,746	0.0505	3,926	耐用年数40年
町道大野栗並線	67,586	0.0505	3,413	耐用年数40年
町道栗並線	50,948	0.0505	2,573	耐用年数40年
小 計			112,873	
計			160,576	

④安全性向上効果

安 全 施 設 名	設置(確保)投資額 (千円) ①	還元率 ②	安全性向上効果 (千円) ③=①×②	備 考
歩 道	71,845	0.0899	6,459	耐用年数10年

⑤年効果額算定に必要な施設別妥当投資額

対 象 施 設 名	耐 用 年 数	還元率 ①	維持管理費節減効果		一般交通等経費節減効果	
			年効果額 (千円) ②	妥当投資額 (千円) ③=②÷①	年効果額 (千円) ④	妥当投資額 (千円) ⑤=④÷①
道路復旧(本事業)	40	0.0505	-	-	-	-
道路復旧(関連事業)	40	0.0505	-	-	-	-
橋梁付替(本事業)	58	0.0446	-	-	-	-
道路付替(関連事業)	40	0.0505	319	6,317	148,834	2,947,208
計			319	6,317	148,834	2,947,208

更 新 効 果		安全性向上効果		計	
年効果額 (千円) ⑥	妥当投資額 (千円) ⑦=⑥÷①	年効果額 (千円) ⑧	妥当投資額 (千円) ⑨=⑧÷①	年効果額 (千円) ⑩=②+④+⑥+⑧	妥当投資額 (千円) ⑪=⑩÷①
20,219	400,376	-	-	20,219	400,376
10,103	200,059	-	-	10,103	200,059
17,381	389,709	-	-	17,381	389,709
112,873	2,235,109	6,459	127,901	268,485	5,316,535
160,576	3,225,253	6,459	127,901	316,188	6,306,679

注) 橋梁付替の耐用年数は、タイプ別耐用年数の加重平均値。

⑥公共施設保全効果の算定

当該土地改良 事業の総合耐 用年数に応じ た資本還元率 ①	維持管理費節減効果		一般交通等経費節減効果		更 新 効 果	
	妥当投資額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③=②×①	妥当投資額 (千円) ④	年効果額 (千円) ⑤=④×①	妥当投資額 (千円) ⑥	年効果額 (千円) ⑦=⑥×①
0.0656	6,317	414	2,947,208	193,337	3,225,253	211,577

安全性向上効果		計	
妥当投資額 (千円) ⑧	年効果額 (千円) ⑨=⑧×①	妥当投資額 (千円) ⑩=②+④+⑥+⑧	年効果額 (千円) ⑪=⑩×①
127,901	8,390	6,306,679	413,718

(9) 地籍確定効果

現況経費 (千円) ①	計画経費 (千円) ②	耐用年数 (年) ③	還元率 ④	年効果額(千円) ⑤=(①-②)×④
3,135,854	4,395	100	0.0408	127,764

(10) 水辺環境整備効果

投資施設名	環境配慮追加投資額 (千円) ①	還元率 ②	年効果額(千円) ③=①×②	備 考
【関連事業】				
大井手幹線水路				
御影石張り	99,303	0.0505	5,015	耐用年数40年
御影高柵	40,508	0.0495	2,005	耐用年数42年
鉄平石	3,846	0.0505	194	耐用年数40年
雑割石	247	0.0736	18	耐用年数20年
擬木	25,710	0.0495	1,273	耐用年数42年
植樹	2,496	0.0899	224	耐用年数15年
親水公園	47,566	0.0736	3,501	耐用年数20年
久保田幹線水路				
鉄平石	17,058	0.0505	861	耐用年数40年
擬木	856	0.0495	42	耐用年数42年
市の江川副幹線水路				
鉄平石	48,280	0.0505	2,438	耐用年数40年
擬木	17,554	0.0495	869	耐用年数42年
植樹	13,745	0.0899	1,236	耐用年数15年
計			17,676	

(11) 廃用損失額

対 象 施 設 名	設置 年度	償却資産額 (千円) ①	残 存 率			廃用損失額 (千円) ⑤=①×④
			廃用施設 までの耐 用年数②	今 後 の 使用可能 年 数 ③	残存率 ④=③÷ (②+③)	
①本事業及び関連事業						
ク リ ー ク	不明	123,058,615	-	-	-	0
区 画 整 理 内 水 路	不明	100,734,678	-	-	-	0
揚 水 機	不明	25,950,759	-	-	-	0
打 込 井 戸	不明	6,811,500	-	-	-	0
井 堰	不明	5,145,216	-	-	-	0
樋 管	不明	12,297,677	-	-	-	0
小 計		273,998,445				0
②関連事業（区画整理）						
区画整理内道路	不明	25,823,209	-	-	-	0
③関連事業（国営佐賀中部地区）						
西水東水幹線水路	S43	64,265	43	-	-	0
西水東水幹線用水路 （二期工事）	S47	90,378	39	1	0.025	2,259
久保田幹線水路	S44	227,099	42	-	-	0
久保田幹線水路 （一期工事）	S43	25,505	43	-	-	0
久保田幹線水路 （二期工事）	S45	309,221	41	-	-	0
大井手幹線水路 （下流部二期工事）	S46	30,834	40	-	-	0
大井手幹線水路 （既施工分）	S45	500,364	25	15	0.375	187,637
市の江川川副幹線水路 （一期工事）	S43	2,186,506	43	-	-	0
市の江川川副幹線水路 （二期工事）	S47	3,116,517	39	1	0.025	77,913
市の江川川副幹線水路 （既施工分）	S45	8,388	25	15	0.375	3,146
南川副線	S59	107,015	27	13	0.325	34,780
鍋島幹線水路 （一期工事）	S43	515,739	43	-	-	0
鍋島幹線水路 （二期工事）	S45	347,821	41	-	-	0
嘉瀬線 （既施工分）	S45	1,929	25	15	0.375	723
小 計		7,531,581				306,458
④公共施設						
パイプライン埋設道路	不明	600,445	-	-	-	0
付け替え橋梁	不明	390,170	-	-	-	0
嘉瀬川ダム付替道路	不明	3,246,741	-	-	-	0
小 計		4,237,356				0
計						306,458